

# 萩ジオパーク

推進協議会だより vol.126

萩ジオパーク推進協議会

| 2025年8月31日発行 |

〒758-0041

山口県萩市大字江向602 萩・明倫学舎本館2階

☎ 0838-21-7765

☎ 0838-25-7767

✉ geo@city.hagi.lg.jp

🌐 <https://hagi-geopark.jp>

📘 <https://www.facebook.com/HagiGeoProject>

📷 @hagi\_geopark



## 夏休みだ! 萩ジオパーク行こう2025

今年の夏休みは「萩ジオパーク・フィールドラボ」が新たに始動! 大地の特徴や人との絆を明らかにすべく、参加者の親子に「特別調査員」として本格調査に参加してもらいました。申込みは最大で定員の5倍にも達し大反響をいただきました。

7月26日の「菊ヶ浜トワイライト砂浜ラボ」と8月3日の「笠山ゴツゴツ溶岩ラボ」では、海岸の環境の成り立ちや生態系の実態を調査しました。



まずは砂浜や磯をよく観察し、環境の違いでゾーン分け。その後ゾーンごとに生き物を採集して記録します。菊ヶ浜ではスナガニやコウイカなど8種類25個体、笠山ではウニやカニなど23種67個体を記録しました。想像以上に多様な生き物が暮らしていることだけでなく、環境によってすみわけがあることもわかりました。みんなで採集した生き物が環境ごとに勢ぞろいすると、子どもも大人も目を輝かせていました。



8月9日の「笠山ヒエヒエ風穴ラボ」では、地域ならではの大地の特徴と人の暮らしの関りに着目した調査をしました。漁業集落のあちこちで冷気を感じる「ヒヤシ」の正体を暴くべく、20もの場所に温度計を設置。気温30℃に対し25℃前後の涼しさ（中には13℃という場所も!）の場所があることが初めて数値で明らかになりました。



調査には「萩ジオツーリズム協会」や「笠山ジオの会」の皆さんも研究員として参加。子どもたちや地域の人と力を合わせ、誰も知らなかった事実を自分たちの手で確かめました。今を記録し、未来を考える糧にする——そんな新しい挑戦を、これからもみんなで積み重ねていきます。

## 学校教育連絡会議を開催しました

8月5日、萩・明倫学舎で今年度最初の学校教育連絡会議を開催し、萩市・阿武町・山口市阿東から約20名の先生方にご参加いただきました。白井専門員の講義では「ジオパークを学校にどう生かすか」をめぐって熱心な意見交換が広がり、グループワークではお困りごとの共有から出前講座の企画まで発展。ジオパークの理念に共感が寄せられ、直後から複数の学校より授業依頼が届くなど、教育現場とジオパークを結ぶ大きな一歩となりました。



## 遠谷Terra 藍染め体験会

7月31日、川上遠谷集会所で「遠谷Terra」による藍染め体験会が開かれ、地元を中心に20名が参加しました。遠谷Terraは萩ジオパークの出前授業をきっかけに地元の有志の方が始めた団体で、かつて川上で盛んだったタデアイ栽培と藍染を復活させ、土地に合った産業や暮らしを見直そうとするものです。当日は活動趣旨の紹介や畑の見学の後、収穫した葉でたたき染めを体験。地域外からの参加もあり、ジオパークの考えに共感した有志の活動が広がっていくことを心強く感じました。



## こども地球の学校

実験や工作を通して地球の仕組みを学ぶ出張型イベント「こども地球の学校」。今年もご依頼をいただき、7月28日に山口市佐山、30日に山口市平川で開催しました。佐山では専門員からレクチャーを受けた中学生が、その後小学生に実験や解説で地層や火山のしくみを教えるという“学びのリレー”を去年に続いて実施しました。平川は3年目ですが、今年も山口大生が協力してくれました。火山や断層などの実験に子どもたちは夢中に。最後は山口大学の楮原先生による振り返りのミニ授業。クイズ形式で大盛り上がりでした。大学生も「良い経験になった」と喜んでくれました。エリア外の子どもたちにジオパークの視点を伝える、手応えある機会となりました。



## 山口市で伊与原さんの トークショーが開催！

8月17日、山口情報芸術センター（YCAM）の主催で直木賞作家・伊与原新さんを招いたトークショーが開催されました。萩で5月に開催した講演会と同様に、萩焼の土を題材にした小説「夢化けの島」の取材で萩・見島を訪れた経験を中心に語られました。今回の企画も、執筆時から協力してきた白井専門員がお繋ぎして実現しました。会場には山口市の方を中心に定員を超える多くの方が集まっていました。参加者の方からは「夢化けの島」や今回の講演会で、萩や萩焼を再発見したという声が多く聞かれ、伊与原さんへの感謝の気持ちを改めて噛みしめる機会となりました。



## 伊与原さんが「萩ふるさと大使」に 就任されました

トークショーの後、伊与原さんが「萩ふるさと大使」に就任され、萩市長からの委嘱式が山口県自治会館で行われました。今後、直木賞受賞作の舞台の一つとなった萩や見島の魅力を発信していただいたり、大地の成り立ちを踏まえた現地ツアーを考える上でご助言いただいたりと、さまざまな形でご縁が続くことが期待されます。



## 笠山山頂展望台『鳶ノ巣』で夕日を見よう！2025

### 2F カフェ・3F 展示休憩室の営業時間延長（10/4（土）～10/12（日））

笠山山頂展望台「鳶ノ巣」は、美しい夕日と日本海に浮かぶ島々の絶景を見ることが出来る展望台です。この夕日と景観をゆっくり楽しんでもらうため、2階カフェと3階展示休憩室の営業時間を延長します。また夕方限定のカフェメニューの販売やイベントの開催、展望台からの見どころを紹介する音声解説も行います。

#### ◆延長期間◆

10月4日（土）～12日（日）午後6時まで  
※音声解説は、同日午前10時～午後6時（3F）  
※10月6日（月）定休日  
※通常は、カフェ午前10時～午後4時  
展示休憩室午前10時～午後5時

#### ◆夕方限定カフェメニュー◆

「笠山サンセットクリームソーダ」  
価格：500円  
10月4日（土）～12日（日）午後3時～6時  
※ラストオーダー午後5時30分

#### ◆「ジオギンチャク・トートバック」制作体験◆

展望台から見えるここだけの夕日の景色などを、巾着袋やトートバックにプリントしてお持ち帰りいただけます。

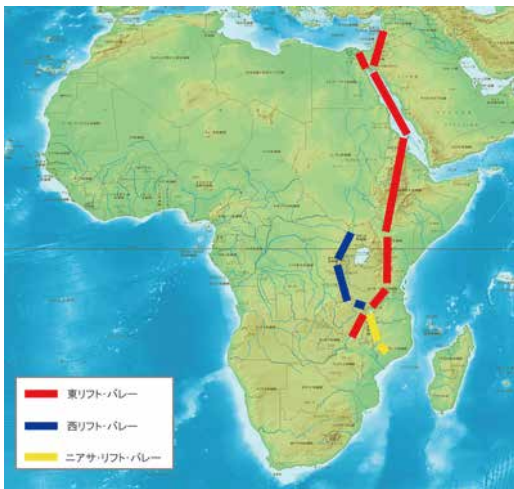
日時：10月4日（土）・5日（日）午後1時～6時 場所：3F展示休憩室  
料金：巾着袋100円、トートバック300円



# わっきー教授のジオ・ワールド

## ⑭ アフリカ大地溝帯(リフトバレー)

今回は、海のプレートが新しく生まれる場所である海嶺について紹介しました。普通は深海底にある海嶺が陸上に出ているアイスランドのギャウは、非常に興味深い場所です。アイスランドと同じように新しいプレートが生まれようとする場所に、アフリカ東部のアフリカ大地溝帯があり、幅が35-100kmで、総延長は7000kmに及びます。写真の左側の平らな山と平地の間に正断層があり、谷側が断層に沿って落ちて凹んだことを示しています。アフリカ大地溝帯は、約1000万~500万年前からできはじめ、アフリカ大陸が次第に東と西2つの大陸に分かれようとしています。アフリカ大陸の東側のマダガスカル島も、アフリカ大陸の一部だったものが分かれて、島になったと考えられています。これは、約2000万年前に日本海ができて、日本列島がアジア大陸から分かれた様子とよく似ています。萩ジオパークの北側に広がる日本海やその海の幸も、アフリカ大地溝帯の動きと類似した、地球の営みのおかげなのです。



## 9月~10月の予定

- geoとも（萩ジオ友の会）定例会 9月20日（土） 場所：青海湖・黄波戸・二位ノ浜 内容：長門市の海辺巡り 参加：会員のみ限定 主催・問合せ：geoとも（中西 080-8747-9383）
- 日本ジオパークネットワーク全地域事務局長会議 9月26日（金） 15:30~17:30 場所：上富良野町保険福祉総合センターかみん 内容：全地域のジオパーク事務局長による諸課題の協議 主催：日本ジオパークネットワーク
- 第15回日本ジオパーク全国大会+勝岳大会 9月27日（土）~9月28日（日） 場所：美瑛町スポーツセンターほか 内容：「地球に学び、未来を育む」をテーマに全国のジオパーク関係者が一堂に会し、分科会やポスター発表等で情報交換、交流 主催：第15回日本ジオパーク全国大会+勝岳大会実行委員会・一般財団法人自治総合センター
- 笠山山頂展望台『鳶ノ巣』で夕日を見よう 10月4日（土）~10月12日（日） 場所：笠山山頂展望台『鳶ノ巣』 内容：カフェ・展示休憩室の営業時間を18時まで延長し、限定カフェメニューや体験プログラムを提供 主催：萩ジオパーク推進協議会（0838-21-7765）
- 第26回萩・魚まつり 10月12日（日） 9:30~15:00 場所：山口県漁協萩地方卸売市場 内容：萩の魚の販売や普及イベント 出展：当協議会、萩ジオツーリズム協会、萩PRカンパニーが体験プログラムや展示を実施 参加：予約不要・入場無料（体験によっては有料） 主催：萩魚まつり実行委員会（0838-25-4195）
- きららアウトドアフェス 10月18日（土） 10:00~20:00、10月19日（日） 10:00~16:00 場所：山口きらら博記念公園大芝生広場 内容：山口県のアウトドアの魅力を満載した体験（アクティビティ、野外食、キャンプ等） 出展：萩ジオツーリズム協会が体験プログラムを実施 参加：予約不要・入場無料（体験によっては有料） 主催：山口県観光連盟 問合せ：きららアウトドアフェス事務局